

成年年齢引下げ 若者意見交換会の結果概要

○ 意見交換会の実施実績

令和元年度：合計 10 回

（内訳としては、高校での実施 7 回、内閣府主催「ユースラウンドテーブル」1 回、法の日フェスタ 1 回、車座ふるさとトーク 1 回）

○ 意見交換会の内容

- ①社会で一人前の大人として生きていくために、どんな能力が必要か
 - ②その能力を備えるために、若者はどんなことをする必要はあるか
 - ③若者に対して、国や地方自治体はどのようなサポートができるのか
- をテーマとして、グループディスカッション形式で意見交換会を実施。
延べ約 1140 人が参加。
※講演会形式 2 回を含む。

○ 意見交換会における若者の提言 概要

テーマ「これから成年になる若者に対して、国や地方自治体はどのようなサポートができるか」について、若者の皆さんから出された意見

〔周知方法に関するもの〕

- ・ SNS（Twitter, Youtube 等）の広告を活用する。
- ・ 成年になることで変わることを、HP や講演会等で積極的に発信する。
- ・ 選挙に関すること、税金の仕組み等、大人になった後に役に立つ情報を積極的に発信する。
- ・ 若者に影響力のある著名人（芸能人、ユーチューバー等）と連携して周知する。
- ・ 若者が周知内容を見るインセンティブを付与する（クーポン、ポイント等）。
- ・ 若者になじみ深いスマートフォンのアプリ、ゲーム等による周知をする。

〔教育に関するもの〕

- ・ グループワーク形式、体験型の授業をさらに導入する。
→体験型授業の具体的内容として、契約締結のプロセスの体験、悪徳商法の体験、金銭管理のシミュレーション等が挙げられた。
- ・ 消費者教育の機会や時間を増やす。
- ・ 社会的に必要な能力を得たり、理解を深めることができる授業を増やす。
- ・ 世代を越えて人と関わることを設ける。

〔制度に関するもの〕

- ・ 若者に対する悪徳商法等をより規制できるような法改正をする。
- ・ 本連絡会議に若者を出席させ、その意見を聴取する。
- ・ 給付型奨学金を増やす。
- ・ 職業体験や留学など、若者が様々な体験をすることができる制度を整備する。